

平成 22 年度事業報告

平成 22 年度においては、平成 20 年度からの世界的な不況や円高による影響、その後の新型インフルエンザの影響による京都観光のダメージを回復するため、平成 21 年度に実施した全国各地での誘客キャンペーン、府内の観光団体が取り組んだ観光振興事業に対する支援などにより、京都を訪れる観光客はかなり回復して来ているとの認識のもと、行政、観光関連団体とともに、当連盟の存在感を示しながら、より質の高い京都観光の振興に向けて、会員サービスの充実を図るとともに各事業を実施した。

京都観光を担う人材を育成する京都観光未来塾の充実、未来塾修了生による OB 会及び府内観光ボランティアガイド団体の取組を支援した。更に、国際観光振興対策として海外誘客対策事業の推進に努めた。

平成 22 年 3 月 16 日京都駅ビル 2 階に京都総合観光案内所が開設され、国内外の観光客に対し、府内全域の観光案内や観光情報の発信等をワンストップで行えるようになり、利用者が増加した。

また、平成 22 年 8 月 6 日から 15 日までの間、京都の夏の新たな風物詩となるよう「京の七夕」が開催され、多くの観光客で賑わった。

しかしながら去る 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震により、被災地は壊滅的な被害を受け、さらには日本全体の経済、産業、観光分野においても深刻な影響を及ぼし、京都観光を取り巻く状況も厳しいものとなった。

○ 東北地方太平洋沖地震関連

- ・平成 23 年 3 月 18 日（金）東北地方太平洋沖地震に係る緊急連絡会議に出席。
- ・平成 23 年 3 月 24 日（木）「東北地方太平洋沖地震」に係る緊急会議に、柏原会長が出席。緊急会議合意事項を確認。
- ・平成 23 年 3 月 28 日（月）柏原会長名により、観光団体等への観光関連事業の過度の自粛廃止や具体的支援活動の実施を要請。

1 組織の強化

会員の増減については、会員登録の変更があり、会員数としては前年度よりやや減少した。

(1) 会員の異動状況

- ◆ 平成 22 年 4 月 1 日現在の会員数 298 会員
- ◆ 平成 22 年度中の異動状況
 - 入会 8 会員
 - 退会 12 会員
- ◆ 平成 23 年 4 月 1 日現在の会員数 294 会員

(2) 理事会及び総会の開催

理事会 平成 22 年 5 月 11 日 於：京都タワーホテル

(理事 29 名、監事 2 名出席、委任状を含む。)

平成 22 年 6 月 8 日 於：京都タワーホテル

(理事 30 名、監事 3 名出席、委任状を含む。)

総 会 平成 22 年 6 月 8 日 於：京都タワーホテル

(会員 222 名出席、委任状を含む。)

(3) 関係機関・団体等との連携

各種委員会等への参画をはじめ、関係機関・団体等との連携のもとに観光関連業界の振興と発展に努めた。

2 観光情報機能の強化

(1) 京都総合観光案内所（京なび）への職員派遣

京都府と京都市が共同で設置し、当連盟も参加の「京都総合観光案内所運営協議会」により運営している「京都総合観光案内所」（京都駅ビル 2 階南北自由通路沿い）に、当連盟嘱託職員を毎日 1 名派遣し、京都府域の観光案内を実施することにより府域観光地への誘客促進に努めた。

期 間	日本人	外国人	合 計
4 月 1 日～3 月 31 日	532,094 人	215,501 人	747,595 人

(京都総合観光案内所全体の実績)

(2) 観光情報センターの運営

丹後観光情報センター（KTR 天橋立駅 1 階）は、来訪者に役立つ観光情報の収集に努め、案内窓口の立地条件を生かして、丹後を中心に観光情報を提供するとともに、来訪者及び電話等による各種問合せに対応した。

◆ 丹後観光情報センター（天橋立ターミナルセンター 1 階）運営状況

各種問合せ件数（件）			
来訪者数（人）	電 話（件）	合 計（件）	前年度合計（件）
24,731	4,544	29,275	32,812

(3) 観光だよりの発行

府内の観光関連行催（祭）事情を各市町村等の協力により「観光だより」（年 4 回各 800 部作成）としてとりまとめ、全国の観光関係事業者や報道機関等へ送付（無償）することにより観光客の増加につなげるとともに、京都総合観光案内所（京なび）等において販売した。

(4) 観光情報提供システムのリニューアル

観光情報提供システムのデータの更新・充実を図り、インターネットにより情報を発信するとともに、日本語版のホームページのリニューアル（平成 23 年 3 月 31 日更新）と英語版の開設を行い、さらに会員サービスの充実と、情報発信力を高めた。

区 分		22年度件数	前年度件数
観光情報提供システム・データ数		約 3,000	約 3,000
ホームページアクセス	ページビュー	48,897,617	58,144,36
	トップページ	1,987,708	2,363,593
ファックスサービス		2,447	1,982
ホームページリンク合計数		316	175

(5) 観光写真の整備と活用

連盟所有の府内観光写真のフィルム等を貸し出すことにより、京都府域の観光PRに努めるとともに所蔵フィルム等の充実を図った。

(6) 桜の開花情報及び紅葉情報の発信

府内各地の桜の開花情報及び紅葉情報を定期的に市町村・観光協会の協力を得て収集し、主な関係先へ送付するとともにインターネットでの情報発信とファックスサービスによる情報提供を行った。また、府域の桜開花情報と紅葉情報を提供し府市共同で京都総合観光案内所に掲示し観光客の利便性を図った。

区 分	表示件数 (内訳)	掲示期間
紅葉情報	108箇所 ◆京都府 41箇所 ◆京都市 67箇所	平成22年10月28日(木)～12月9日(木)
桜開花情報	94箇所 ◆京都府 49箇所 ◆京都市 45箇所	平成23年3月17日(木)～4月21日(木)

(7) 首都圏での旅行記者クラブ等への情報発信

近畿府県が協力して首都圏において年3回開催している旅行記者クラブ等との情報交換会を活用し、府内の観光・イベント情報をはじめとする各種京都情報の発信を行った。

(8) 観光情報ファイルの活用

社団法人日本観光協会（現社団法人日本観光振興協会）に対し府内観光情報の提供を行い、同協会の広報媒体を活用し広く情報発信を行った。

3 観光客誘致対策の強化

(1) 観光宣伝媒体の作成による広報宣伝の強化

ア 「マップ京都」の配付

物産関係団体、社団法人日本観光協会などと連携した催事において、京都観光の案内、宣伝に活用するため、府内観光情報の提供と誘客に使用する地図「マップ京都」を配付するとともに、京都総合観光案内所窓口と当連盟で販売した。

イ 「京都体験紀行」の配付

参加型又は体験ができる観光についての観光客の問い合わせに応じるため、平成21年度発

行（隔年発行）の「京都体験紀行」を京都総合観光案内所窓口と当連名で販売した。

ウ 「広域観光マップ」、「おこしやす京都」の発行・配布

府域観光の普及・啓発のため、乙訓、山城、丹波の各エリアの「広域観光マップ」や季節毎の行催事を紹介した「おこしやす京都」を発行し、京都総合観光案内所（京なび）をはじめ、各地での観光展等で配付した。

(2) 一般誘致対策の強化

ア 広域観光誘客促進事業の推進

(ア) キャリアー（旅客輸送機関）との連携事業

京都府南部地域の観光資源をアピールするため、乙訓 2 市 1 町・八幡市と連携し、阪急電鉄、京阪電気鉄道の協力を得て関係地域内に 4 コースを設定し「乙訓・八幡歴史ウォーク」に参画した。

(イ) 京都府・JR 西日本観光連携協議会事業

乙訓、山城、南丹の 3 つのブロック協議会と連携を図り、それぞれの地域が有する観光資源の宣伝・PR をより効率的・効果的に進め、JR 沿線の利用促進と同地域への観光誘客を促進するため、観光客が利用できる発地パンフレット及び着地マップを作成し、JR の関係駅に配架した。

(ウ) 広域観光案内連携事業

京都市域のホテル、旅館等の宿泊施設事業者を対象として京都市に隣接する府域の市町村の観光地の魅力を紹介するため「コンシェルジュ（総合案内係）等に対する観光情報説明会」を実施した。

◆ 開催日 平成 23 年 2 月 22 日

場 所 向日市、長岡京市、大山崎町

参加者 16 施設 23 名

(エ) 市町村広域観光推進事業

京都府域の観光魅力を紹介するため、2 地域の観光関連団体と連携し、広域エリア観光資料を作成し、京都総合観光案内所等で配付した。

イ 観光プロモーション事業

(ア) メディア連携キャンペーン事業

情報発信力の高い TV 「旅番組」や「旅行雑誌」等を活用し、京都の旬の魅力を発信した。

◆ TV 3 社 4 本、雑誌等 6 社 8 本

(イ) マスコミ対策事業

報道関係者等を招請し、関係市町・観光協会との連携のもと、「当尾の里と桜・山吹の玉川堤を巡る山城の旅」と題して、木津川市（笠置町）、井手町の観光スポットを紹介するとともに、紙面等への観光情報の掲載を要請した。（5 社掲載）

◆ 開催日 平成 23 年 3 月 2 日

場 所 木津川市、井手町

参加者 11 名

(ウ) 観光宣伝販売促進会議の開催

首都圏の旅行エージェント及びキャリアー（旅客輸送機関）に対して新たに整備された府内の観光関連施設や、幅広い分野の観光資源を紹介宣伝し、京都観光の情報発信を促進するために、東京において継続実施している観光宣伝販売促進会議を開催し、各社の商品企画立案への採用を呼び掛けた。

- ◆ 開催日 平成 22 年 9 月 8 日～ 9 日
場 所 東京ステーションコンファレンス

参加エージェント等		参加団体・機関等	
クラブツーリズム（株）・近畿日本 ツーリスト（株）・東海旅客鉄道（株）・ （株）日本旅行・（株）ジェイティ ービー・（株）読売旅行・ANA セ ールス（株）・日本航空	55 名	行政機関・観光団体・伝統産業関 係団体・府観光連盟	21 名

(エ) 物産展・観光展等への出展

京都府及び物産関係団体と連携し、京都市・大丸京都店で開催された「第 13 回京の味めぐり・技くらべ展」会場において京都観光の普及・PR を行った。更に、物産関係団体が福岡市、八王子市で実施した京都展において京都観光を PR した。

また、社団法人日本観光協会関西支部と連携して、JR 鹿児島中央駅、JR 横浜駅及び JR 京都駅の国内観光展に出展し、京都観光の魅力をアピールした。

(オ) 物産開発と連携した誘客促進

産品・物産の商品開発と連携した観光振興の取り組みとして、京都府商工会連合会「販路開拓支援事業」などの各種委員会に参画し、物産を通じて京都への誘客に取り組んだ。

(カ) 京都体験紀行ファンクラブの運営

産業・文化体験観光の振興など京都観光の魅力創出と観光資源の発掘を目的に運営している「京都体験紀行ファンクラブ」の会員を中心に現地勉強会（亀岡市、京田辺市）の実施や観光情報の提供等を行った。

(キ) 九州新幹線開通関連誘客キャンペーンの実施

JR 西日本、関西府県と連携し、JR 熊本駅や JR 鹿児島中央駅において開通前の誘客キャンペーンを実施した。

(ク) 臨時まちかど府域観光 PR コーナーの設置

京都府と一体となって、鴨川茶店、鴨川納涼へ出展するとともに、羽田空港においてプロモーション活動を行い、京都府域観光を PR した。

(ケ) 「京の七夕」実行委員会への参画

京都府、京都市、京都商工会議所、京都仏教界、社団法人京都市観光協会とによる実行委員会を設立し、8 月に京都ならではの七夕を、京都の新たな夏の風物詩となるよう取り組んだ。

4 国際観光振興対策の強化

(1) 海外誘客対策事業の推進

ア 京都府、滋賀県、社団法人びわこビクターズビューローとともに、有望な市場と考えられる台湾・香港の個人旅行（FIT）等をターゲットとしたメディア招請事業（ファミトリップ）を国のビジット・ジャパン地方連携事業として実施した。

日 時 平成 23 年 2 月 13 日～18 日

場 所 京都市、亀岡市、八幡市、京田辺市

招請者 2 社 4 名

イ 総務省が平成 22 年度実施した「地域コンテンツの海外展開に関する実証実験」を行うために設立された「関西地域コンテンツ海外展開協議会」に参画し、関西の観光情報が海外に発信される事業への協力を行った。

ウ 近畿運輸局が実施した「京都市域における外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化調査事業」を行うために設立された「京都市域における外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化調査実施協議会」に参画し、京都市域における外国人観光客の移動容易化のための言語バリアフリー化調査事業への協力を行った。

エ 社団法人日本観光協会の関西ブロック広域観光振興事業（近畿 2 府 5 県）に参画し、社団法人日本観光協会台湾事務所において京都観光の魅力の宣伝・紹介を行った。

(2) インバウンド商談会の実施

平成 22 年 11 月 25 日、26 日に幕張メッセで開催されたインバウンド商談会「VISIT JAPAN トラベルマート 2010」に亀岡市とともに参加し、京都観光の情報提供及び PR を行った。

(3) 海外ネットワークの構築及び府内へのインバウンド情報の提供

JNTO 等の協力者や海外旅行社とのネットワークづくりに努めるとともに、そのネットワークを活用し、海外への最新観光情報の定期的な受発信、パンフレットやポスターの送付、海外の訪日旅行情報の把握等を行った。

また、当連盟会員向けに、各種インバウンド情報の提供を行った。

(4) 海外有力プレス関係者招請等

京都府、京都市、社団法人京都市観光協会とともに、海外の有力プレス関係者等を招請するとともに、京都取材への協力を行った。

招請総数 46 件

招請社数 延べ 70 社

招請国・地域 14 カ国・地域

(5) 訪日外国人受入促進研修

社団法人日本観光協会との共催により、平成 23 年 1 月 28 日に亀岡市で「訪日外国人受入促進研修」を開催し、143 名の参加者を得た。

5 観光振興基盤の強化

(1) 観光関連事業功労者等の表彰

観光振興に顕著な功績のあった観光関係者及び団体に対する表彰を行った。

表彰区分	22年度被表彰者数
観光功労者表彰	2名（知事表彰1名） （会長表彰1名）
優良従業員表彰	30名（知事表彰1名） （会長表彰29名）
優良観光団体表彰	1団体（会長表彰1団体）

(2) 京都府観光振興連絡会議の開催

「観光の活性化方法」を発案する検討の場を設け、関係団体の課題とノウハウを集積することにより観光団体の組織力アップと観光団体の連携促進を図るため「京都府観光振興連絡会議」を開催した。

日時	場所	参加者
平成23年2月17日	京都タワーホテル	28名

(3) 各種観光行催事後援等による普及・啓発事業

各種観光関連行催事への協賛・後援をはじめ、府内観光関連団体等と連携・協調して観光関連事業の振興を図った。

6 京都観光を担う人材の育成

「京都観光未来塾」第1期修了生のフォローアップと修了生相互のネットワークづくり等を目的とした「円卓会議」を4月に開催するとともに、平成22年7月から11月まで、第3期の各セミナー（研修）を開催した。

また、修了生によるOB会の京都観光未来創造ネットワーク総会を5月に、府内観光ボランティアガイド団体の連絡組織の京都府観光ボランティアガイド団体連絡協議会総会を8月に開催した。さらに、各種助成制度の活用等による観光ビジネスの創出も支援した。

各セミナー（研修）の内容としては、観光産業経営者・企画担当者向けの「経営企画セミナー」、観光産業従事者向けの「ホスピタリティ（おもてなし）セミナー」、地域観光リーダー向けの「地域リーダー研修」、観光ボランティアガイドリーダー向けの「ボランティアガイドリーダー研修」の4コースに分け、「地域の魅力づくり」、「府域への外客誘客」の視点から、座学による講義だけでなく、考えるプロセスを重視したケーススタディ演習、講師との対話や実習を中心としたワークショップ、成功事例から魅力ある観光地づくりのヒントを学ぶ事例研究等による実践的な内容で開催した。（府北部会場（京丹後市、宮津市、舞鶴市）コースも設定）

- ◆ 塾（セミナー）の開催 35回（平成22年7月～平成22年11月）
 - ・経営企画セミナー（京都市） 5回

- ・経営企画セミナー（宮津市） 4回
- ・ホスピタリティ（おもてなし）セミナー（京都市）7回（※英会話研修4回含む）
- ・地域リーダー研修（京都市） 4回
- ・地域リーダー研修（京丹後市、舞鶴市） 10回
- ・ボランティアガイドリーダー研修（京都市） 4回（※韓国語・中国語講座1回含む）
- ・特別研修（地域プロデューサー養成講座） 1回
- ◆ 京都観光未来塾円卓会議の開催 1回（平成22年4月28日）
- ◆ 京都観光未来塾人材育成会議の開催 3回（平成22年4月～平成23年3月）

7 観光振興への拠出

社団法人日本観光協会が実施する広域観光振興事業に対する拠出を行った。